

~ Special Contribution ~

JAAGA 創立 20 周年特別寄稿 JAAGA 前理事 高橋健二

Col. Kenji Takahashi (Ret.)
Former JAAGA Director



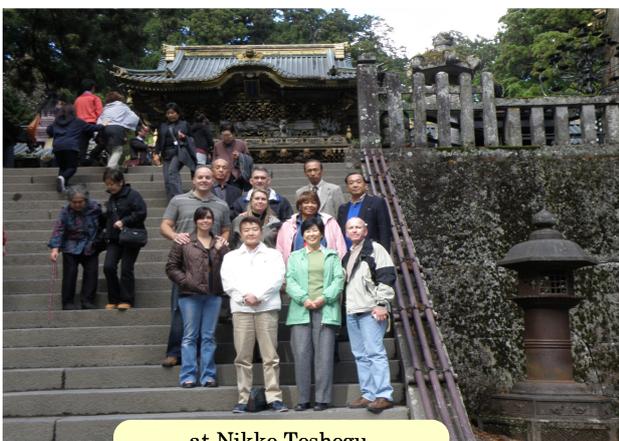
JAAGAの思い出

日米エアフォース友好協会 (JAAGA) が今年で創立20周年を迎えた。早いもので、理事として協会の運営に参画して12年、この間、広報、財務そして渉外理事として活動し、協会のほぼ全ての行事に参画できたことは得難い経験であった。特に、印象に残っていることは、JAAGA を通じて依頼があり、統幕学校のタイ留学生 P 大佐と防衛大学の米国留学生 S



with Cadets as a host family

候補生のホストファミリーを引き受けたことである。それぞれ、年度は違っていたが、家族と一緒に、食事をしたり、多摩川の花火を観たり、観艦式に乗船したり、防大の開校祭に招待を受けたりして、共に楽しい時間を共有することができた。



at Nikko Toshogu

また、宇都宮在住の T ご夫妻の案内で、米軍人夫妻たちと一緒に神橋を渡り、東照宮で巫女舞を鑑賞したり、窯元を訪れ陶器の湯のみ茶碗を作ったりして、米軍人夫妻共々、日本の文化を楽しみ、有意義な時間を過ごすことができた。

米軍横田基地で毎年5月に開催される関東スペシャル・オリンピックの行事に数度参加した。この行事は E 先輩が中心になって、この行事への支援を決めた経緯があり、当初賛同を得るのが難しかったと記憶している。日米軍人たちが行事と一緒に参加し活動している姿を見てもこの行事に参加して良かったと思う。また、この行事が現ケネディ駐日大使の父の妹であるユニス・ケネディ・シュライバーが提唱者であることも印象的である。



Special Olympics at Yokota AB

入会当初は協会の事務室もなく(住所は私書箱)、役員会や理事会等は会社の会議室を借りたり、グランドヒル市ヶ谷の別館の控室等を借りたりして苦勞して実施していた。今では、協会の事務室も完備し、役員会もホテルの一室を借りて実施している。年に3回発刊していた、広報誌はいつも役員会終了後、全員で配送業務をやっていた。現在は年2回の「JAAGAだより」は業者委託にして全員で配送する作業はなくなったが、Y 理事が中心に内容の充実が図られ、カラーの立派な広報誌になった。新たに、時代の流れで HP を開設し、Y 先輩が HP による広報を担当している。この HP はとても好評である。協会のメインの行事である日米表彰式は長い間、米軍の行事の中で実施していたが、同期生の K 君が中心になり、予算を大幅に増やし、現行のように独自で空自基地において表彰式が実施できるようになった。また、財務の健全化のため、これも同期の K 君が毎年未納会員に対し「当協会は会員の皆様の温かい会費によって運営されて云々」の粘り強いお願いを実施したおかげで会費の納入率が大幅にアップした。

日米同盟の絆は日増しに進化し、JAAGA の役割は今後さらに大きくなるであろう。私も創立20年の機会に理事を退任するが JAAGA のさらなる発展を後輩たちに期待している。